

〔科目名〕 <p style="text-align: center;">教育方法論</p>	〔単位数〕 <p style="text-align: center;">2 単位</p>	〔科目区分〕 <p style="text-align: center;">教職科目(必修)</p>
〔担当者〕 <p style="text-align: center;">鈴木郁生 SUZUKI Ikuo</p>	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業開始時に明示する 場所: 614 研究室	〔授業の方法〕 <p style="text-align: center;">講義</p>
〔科目の概要〕 <p>教育方法論とは、子どもを教え育てるにあたっての方法、そしてその理論について検討する学問である。子どもは、自然にその周囲から学び成長するかもしれない。ただ、子ども達に「何を伝えるか」、「どのように教えるか」、「どう成長させるか」という問題は、深く検討すべきだろう。そこで本科目では、歴史的経緯も踏まえつつ、教育の方法について学ぶこととする。</p> <p>具体的には、教育方法に関わる思想、学習教授法に関わる理論と技術、学習に関わる認知(記憶、思考等)、学力と教育評価、教材と情報機器やマルチメディアといった内容について学習する。さらに授業実践についての理解を深める。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>本科目は、教育職員免許法に定められた「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」であり、特に「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)」の事項に関わる科目である。そのため、教職課程の必修科目として定められている。</p> <p>教壇に立つには、ただ教える教科の知識を持つだけでは充分だとは言えない。教育方法について深い理解があつてこそ、授業設計にも幅が出来、自らの教授法を客観的に評価出来る。本科目で学ぶ内容は、教育の基礎として重要な意味合いを持っている。免許種別にかかわらず、学習に励んでもらいたい</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>本科目の中間目標は、これまでの教育方法に関する思想や教授法の基礎についての理解を深めることである。そして、最終的な到達目標は、教育評価等について学習した上で、学んだ知識を実践出来るようになることである。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>概ね良好な評価を頂いている。今後もさらなる改善に努めたい。</p>		
〔教科書〕 <p>なし。</p>		
〔指定図書〕 <p>なし。</p>		
〔参考書〕 <p>授業時に適宜紹介する。</p>		
〔前提科目〕 <p>なし。</p>		
学修の課題、評価の方法) (テスト、レポート等) <p>試験を実施する。また授業内で評価の対象となり得る課題を課す場合がある。</p>		

〔評価の基準及びスケール〕

期末試験や課題等により、総合的に評価する。

A: 100～80点

B: 79～70点

C: 69～60点

D: 59～50点

F: 49～0点

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

理論的な部分については、退屈に思えるかもしれない。ただ、そうした理論が実践にも結びつくものである。受講者の理解が進むよう、具体的な例を挙げながら授業を進める予定である。受講者も好奇心を持ち、自らの経験等に照らしながら学習を行ってほしい。

〔実務経歴〕

該当しない。

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション・教育方法の基礎 内 容: 初回授業であるので、授業展開等について説明する。そして教育方法論の領域と基礎について解説する。 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 教育方法に関する思想1(古代から近代初期) 内 容: コメニウスやルソーなど、近代の教育思想について学ぶ。 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 教育方法に関する思想2(近代から現代) 内 容: 近代から現代にかけての教育思想を紹介し、思想の歴史的変遷について理解する。 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): 日本における教育方法の歴史 内 容: 日本の教育方法の歴史を、西洋の教育方法との関わりを踏まえつつ学習する。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 学習と認知のメカニズム1 内 容: 教育に関わる認知(記憶・思考等)の基礎について学ぶ。 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 学習と認知のメカニズム2 内 容: 近年の心理学的知見から、教育に関わる認知(記憶・思考等)のメカニズムについて学習する。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): 認知機能とその応用 内 容: 学習と教授法に関連した認知の機能と、その応用について論じる。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 学習を阻害する要因と熟達 内 容: 学習を阻害する要因について紹介し、熟達という現象についての理解を深める。 教科書・指定図書

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):学習方略と協同学習 内 容:学習方略や協同学習について理解する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):学力 内 容:学力に関する問題を議論し、学力に関する理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):教育評価1(教育評価の種類) 内 容:知能やテスト理論に関する学習を通して、人を測定するということについて深く理解する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):教育評価2(テスト理論と作問法) 内 容:教育評価の種類やその理論について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):情報機器とマルチメディア 内 容:教育場面における情報機器の利用と、マルチメディアによる教材について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):授業デザイン 内 容:授業環境を含め、授業デザインについて学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):授業実践の方法 内 容:授業の体験を通して、教育方法の実践的理解を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	